

山海平野！ToMo 区分会報

2022 年度 社会福祉法人道南福祉ねっと 2022 年 9 月 1 日（木）発行 第 25 号

9 月 行 事 予 定

9 月 4 日（日）グループホームミーティング（明日へ）
9 月 6 日（火）工賃支給日
9 月 7 日（水）防災訓練（GH 明日へ・GH なのか）
9 月 11 日（日）グループホームミーティング（なのか）
9 月 18 日（日）グループホームミーティング（かけ橋）
9 月 19 日（月）敬老の日
9 月 21 日（水）防災訓練（GH かけ橋・GH そら）
9 月 23 日（金）グループホームミーティング（そら）
9 月 23 日（金）秋分の日



コロナ蔓延防止等重点措置が解除されたのも束の間、再び全国的に感染者が増加しています。

引き続き感染予防対策を実践していきましょう。

コロナの影響により生活スタイルが変わり、色々な情報に惑わされたりして、知らず知らずのうちに「こころ」や「からだ」に疲れが出てきている人が多くなっていると思います。

- ① 生活リズムを整える
- ② バランスの良い食事をとる
- ③ 十分な睡眠をとる
- ④ 適度に体を動かす

この 4 点をこころがけましょう。

コロナと上手く付き合いながら私たち「ALL ハウス」では作業でダンボールの組み立てや、草刈り、清掃活動などをおこなっています。

色々な制限の中で時折楽しい時間も過ごしてほしいという思いから先日、城代牧場に地域散策で外出しました。牧場に着き外に出て、良い景色を眺め、良い空気を吸って、皆さんから「きれいだった」「気持ち良かった」等の声が聞かれ「こころ」も「からだ」もリフレッシュできたのではないのでしょうか。外に出て体を動かす時間を作るのは難しいですが、「ALL ハウス」では行える時に午前、午後とラジオ体操も行っています。体を動かすと気分も変わり皆さんの笑顔も増えます。継続してゆけたらと思います。「こころ」と「からだ」の健康を保つことで日常生活もスムーズに行うことができるのではないのでしょうか。感染予防を徹底すればするほど、見守り、居場所づくり、つながりが進まないと感じることも多いですができることをできる方法で一緒に進めていきましょう。

文責 職務支援員 竹越綾子

山海平野！PORT 区分会報

2022年度 社会福祉法人道南福祉ねっと 2022年9月1日(木)発行 第25号

9月行事予定

- 9月6日(火) 工賃支給日
9月7日(水) 防災訓練(かりん)
GH ミーティング(かりん)
9月14日(水) 防災訓練(PORT)風水害
9月15日(木) 防災訓練(あさがお)
GH ミーティング(あさがお)
9月21日(水) 防災訓練(ひなた)
GH ミーティング(ひなた)

新型コロナウイルスの流行「第7波」により日本の新規感染者数は世界最多を記録するなど感染のピークが見えずさらなる感染拡大が懸念されています。感染の広がりには道南福祉ねっとにも及んでおり、職員・利用者の感染者数は急激に増え、蔓延を防ぐために通所での支援から在宅支援に切り替える等の対策を講じなければならなくなりました。幸い感染者の急増は免れ通所での支援を再開することができるようになりましたが、予断を許さない状況は続いています。基本的な感染対策をしっかりと行い「第7波」を乗り越えていきたいと思ひます。

「津波による緊急避難経路の確認」



震度6強の地震発生による大津波警報・避難指示が出されたことを想定し、避難経路を確認する訓練を行いました。PORT ハウスから避難場所の高規格道路一本木までの道のりをバスで移動し経路を確認しました。災害時

は2キロの距離を徒歩で移動しなければならないので実地訓練も行いたいと思ひます。

いつ何時、災害が起こるかわからない状況なので利用者、職員より一層の緊張感を持ちながら訓練を実施していきます。

「プチブロックチャレンジ！」

仕事が早く終わった時に余暇活動の一環



として100円ショップで販売しているプチブロックに挑戦してみました。対象年齢は12歳以上となっていますが「トリセツ」は難解でチャレンジャーは次々にあきらめてしまい、不思議な形で完成する作品が続出しました。今後も引く続きチャレンジしていきますので、新たな作品に乞うご期待です。

山海平野第25号をお読みいただきありがとうございました。

最近では新型コロナウイルスやサル痘の感染拡大、ウクライナ情勢や台湾有事の問題など対岸の火事とは思えないことの連続で何とも言えないような不安を常に抱えているような感覚を覚えます。一日も早く平和な日常を取り戻せるよう「福祉」という言葉の力を信じながら自分たちにできることを続けていきたいと思ひます。

文責 副主任 石岡 暁



山海平野！WORK 区分会報

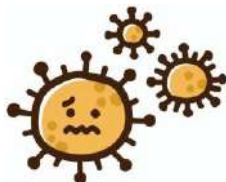
2022 年度 社会福祉法人道南福祉ねっと 2022 年 9 月 1 日（木）発行 第 25 号

9 月 行 事 予 定

- 9 月 6 日(火)：工賃支給日
- 9 月 16 日(金)：ストーブ等暖房器具点検
- 9 月 18,19 日：GH レク（フルーツサンド作り）
- 9 月 28,29 日：WORK,ながま〜るレク（BBQ）

朝夕めっきり涼しくなってきました。空の色や風の音にも秋を感じる今日この頃です。9 月は森町の美味しいプルーンが収穫されます。食物繊維や鉄分が豊富で貧血、高血圧、便秘予防、美容効果？などたくさんの効能があります、是非ご賞味ください。

今夏、新型コロナウイルスの感染が再び拡大しました。感染力の強いとされるオミクロン株派生型「BA・5」への置き換えや、ワクチン接種から時間がたち、免疫効果が低下しているなど、道内を含む各地で 1 日当たりの新規感染者数が過去最多を更新しています。



残念ながら当施設においても先般、職員並びに利用者の新型コロナウイルス感染が確認され、その後感染が拡大する事態となり、利用者やご家族、地域の皆さま、関係機関の皆さまには多大なご心配とご不便をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。ついては、毎日の健康管理と徹底した感染防止対策をより一層注力し、福祉サービスに努

めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、この 2 年半のコロナ禍で、消えることのない問題意識の火種がいくつか存在しますが、その一つが私たちの日



常生活において“笑顔”が少なくなっているように感じることです。自然に発せられる友好的な和顔、お腹の底から湧き出てくる笑い声、温かみのある笑みを添えたアイコンタクト、おもてなしに欠かせない微笑みなど、アレコレの笑顔が消え失せてしまうのではないだろうか心配です。そもそも笑顔は、信頼と安心のコミュニケーション成立の潤滑油です。笑顔を大切に・・・。

笑う門には福来る ～ 笑顔の素敵な人は、幸福度がアップするそうですヨ！

コロナ禍が収束し、マスクを外して大声で笑い合える日の到来を願うばかりです。

文責 職務支援員 金谷 孝己

新人さん紹介

久保田 真伸 27 歳です。皆さんに助けられながら頑張ってます。まだまだ気遣いの足りない面がありますが、努力してまいりますのでよろしくお願いします。

